筑波山地域ジオパーク認定10周年

筑波山地域ジオパークは２０１６年９月に日本ジオパークとして認定されてから、今年10周年を迎えました。認定10周年を記念し、各種物販やワークショップなどを開催します。

EVENT　筑ジオわくわくフェスタ２０２６

■**日時**／12月６日(日)10時～16時
■**会場**／筑波山ゲートパーク（つくば市北条４１６０）
■**問合先**／商工観光課（☎０２９６－５５－１１５９直通）

詳細は、筑波山地域ジオパークホームページにて掲載

筑波山地域ジオパークとは

筑波山地域ジオパークは、茨城県中南部に位置する６市（石岡・笠間・つくば・桜川・土浦・かすみがうら）で構成される日本ジオパークの一つです。日本百名山の一つである筑波山、国内第２位の湖面積を誇る霞ヶ浦や日本最大の平野である関東平野など、日本を代表する地質遺産を有しています。



市内の主なジオパーク資源（自然・文化景観）

真壁石燈籠づくりとその技術・技法

良質な真壁石を使い、江戸時代から受け継がれる技術・技法によって施される繊細な彫刻が魅力の真壁石燈籠は、国の伝統的工芸品指定から今年で３０周年を迎えました。



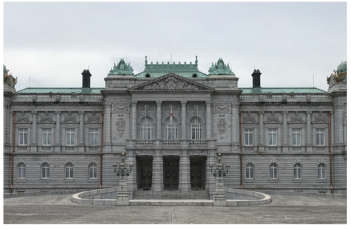
山桜と里山の自然

櫻川磯部稲村神社と磯部桜川公園を含む周辺一帯は、山桜の景勝地として国の名勝に指定され、指定域内の全ての桜は国の天然記念物にも指定されています。自然の豊かさを象徴する山桜と里山の景観は、地域の人々によって大切に守られています。



加波山の花こう岩とヘリテージストーン

加波山頂とその周辺には、花こう岩でできた巨石や奇岩が多くみられ、古来信仰の対象や修験の場として利用されてきました。明治期以降、山麓で産出する花こう岩は、良質な石材「真壁石」として迎賓館赤坂離宮や日本橋にも用いられました。日本の近代化にも貢献した真壁石は、ヘリテージストーン（世界天然石材遺産）に認定されています。



筑波山麓でのみかん栽培

筑波山の中腹に位置する酒寄地区では、日当たりと水はけがよい斜面と、冬に形成される暖かい空気の層（斜面温暖帯）を利用した福来みかんや温州みかん栽培が盛んです。１０月下旬から１２月上旬にはみかん狩りが楽しめます。

